

事務事業	12003	宇美町・志免町衛生施設組合運営事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
------	-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

計後 画期 体計 系画	施策	13	ごみの減量と資源再利用を進め環境にやさしいまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	380	ごみ処理環境を維持する		款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費

法令根拠条例等		個別計画
---------	--	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	H13 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
町内で発生したし尿、浄化槽汚泥を適正に処理をする。町内から回収した粗大ごみ、燃やせないごみ(5種類:陶器・ガラス・その他、金属類、空き缶・空きびん、ペットボトル、プラスチック製容器包装類)を選別し、リサイクルする。宇美・志免リサイクルセンターと宇美・志免浄化センターで行う。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
業務委託に関する事務、業務に関しての協議を行う。		
主 な 事 業 費 の 内 訳	宇美町・志免町衛生施設組合負担金	152,813 千円
	土地借上料	30,057 千円
	井戸水水質検査委託料	11 千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)
30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入)
業務委託契約 搬入協議
② 対象(誰、何を対象にしているのか)
①し尿・浄化槽汚泥 ②燃やせないごみ
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)
①し尿・汚泥を適正処理する。 ②適正にリサイクルされる。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 契約件数	件	1	1	1 (見込)	
イ 搬入協議回数	回	12	12	12 (見込)	
ウ し尿・汚泥排出世帯数(個人・業者)	世帯	846	835	830 (見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア し尿、浄化槽汚泥収集量	t	2,309	2,034	2,000 (見込)	
イ 燃やせないごみの収集量	t	805	845	800 (見込)	
ウ 粗大ごみの収集量	t	113	135	100 (見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
名称	単位		29年度	30年度	31年度
ア し尿、浄化槽汚泥処理量	t	目標	2,500	2,300	2,000
		実績	2,309	2,034	
イ リサイクルされたごみの量	t	目標	700	700	700
		実績	752	795	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経 費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	177,256	191,458	182,880	190,160		
		合計(A)	177,256	191,458	182,880	190,160	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	992	956	874	1,004			
トータルコスト(A)+(B)	178,248	192,414	183,754	191,164	0	0		

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
廃棄物処理法により市町村の事務とすることになった。	公共下水道の普及により処理量が減少してきている。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	ごみ分別により、ごみ減量やリサイクル推進に貢献している。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条による地方自治体の責務とされている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	し尿・汚泥は適正に処理されている。 燃やせないごみについても、適正に処理されている。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	燃やせないごみのリサイクルやし尿、汚泥の処理ができなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	公共下水道の整備により、し尿・汚泥処理量が減ってきているので、薬剤等の使用が減少する。 家族の人数や排出量で料金が決まるので公平な受益者負担になっている。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

し尿・汚泥処理量は、公共下水道の普及により減少していくので効率よく運営する必要がある。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	